

## 「伊那本線」停留所の環境整備について

### 1 目的

平成29年4月から、行政区域間縦断バスの試験運行事業として、3市町村を結ぶ「伊那本線」を運行しており、3市町村で構成する伊那中央行政組合が運営する「伊那中央病院」をはじめ、商業施設や行政施設を結ぶ重要な路線として利用されています。

伊那本線とJR飯田線は並行して運行しており、バス停留所と鉄道駅の結節を図り、待合所等の環境を整備することは、JR飯田線利用者はもとより、伊那本線利用者の利便性、快適性の向上にもつながります。

こうしたことから、伊那本線の停留所と直接結節するJR沢渡駅において、このたびの東海旅客鉄道株式会社（JR東海）によるコンパクト化工事（駅舎及びトイレの撤去、スロープ及びホーム上屋の設置）に合わせて、伊那地域定住自立圏事業として共用の待合所、トイレ等を一体的に整備するものであります。

### 2 事業概要

- (1) 整備場所 JR飯田線 沢渡駅  
(別紙「伊那本線経路図・沢渡駅位置図」参照)
- (2) 整備概要 待合所、トイレ等の整備
- (3) 事業計画
  - ・平成30年度 建物設計 予算額 4,500千円
  - ・平成31年度 建築工事 予算額 30,000千円※ 沢渡駅整備に要する費用は、伊那市が負担します。  
(箕輪町及び南箕輪村の負担はありません。)
- (4) コンパクト化工事（予定）— JR東海施工
  - ・～平成30年3月 ホーム上屋の設置
  - ・平成30年4月～7月 駅舎及びトイレの撤去
  - ・平成30年7月～12月 スロープの設置※ コンパクト化工事終了後、市による待合所、トイレ等の整備に着手します。